

## 2023 年度収入支出予算および事業計画の概要

### 1. 2022 年度決算経常収支見込み

#### (1) 一般勘定（健康保険）

- ①**経常収入は**、被保険者数が予算比 30 人減少したことなどから、年間総報酬額が 147 百万円減少し、これに伴い健康保険収入が**予算比 13 百万円・全体で 12 百万円減少**する見込みです。
- ②**経常支出は**、60 歳以上の医療費が前年度比 30 百万円増加する見込みなどから、保険給付費が**予算比 32 百万円・全体で 29 百万円増加**する見込みです。
- ③この結果、**経常収支差引額は予算比 41 百万円赤字幅が拡大し 101 百万円の赤字**となる見込みです。

#### <2022 年度一般勘定（健康保険）収支見込み>（単位：千円）

	(A)2022 年度予算	(B)2022 年度見込	(B)-(A)差異
被保険者数	629 人	599 人	▲30 人
保険料率	78.00/1000	78.00/1000	-
平均標準報酬月額	495	498	+3
総標準賞与額	1,016,665	1,027,125	+10,460
<b>年間総報酬額</b>	<b>4,751,930</b>	<b>4,604,865</b>	<b>▲147,065</b>
<b>①a. 経常収入</b>	<b>365,876</b>	<b>354,135</b>	<b>▲11,741</b>
健康保険収入	363,609	350,378	▲13,231
その他	2,267	3,757	+1,490
<b>①b. その他収入</b>	<b>97,349</b>	<b>112,451</b>	<b>+15,102</b>
調整保険料	7,188	6,916	▲272
繰入金	84,000	94,000	+10,000
助成金・その他	6,161	11,535	+5,374
<b>①c. 収入合計</b>	<b>463,225</b>	<b>466,586</b>	<b>+3,361</b>
<b>②a. 経常支出</b>	<b>426,397</b>	<b>455,450</b>	<b>+29,053</b>
保険給付費	152,760	184,441	+31,681
納付金	206,004	205,145	▲859
保健事業費	31,708	30,178	▲1,530
事務費・その他	35,925	35,686	▲239
<b>②b. その他支出</b>	<b>36,828</b>	<b>7,116</b>	<b>▲29,712</b>
財政調整事業拠出金	7,188	7,051	▲137
予備費	24,637	0	▲24,637
その他	5,003	65	▲4,938
<b>②c. 支出合計</b>	<b>463,225</b>	<b>462,566</b>	<b>▲659</b>
<b>③a. 経常収支差引額</b>	<b>▲60,521</b>	<b>▲101,315</b>	<b>▲40,794</b>
<b>③c. 総合収支差引額</b>	<b>0</b>	<b>4,020</b>	<b>+4,020</b>

## (2) 介護勘定（介護保険）

- ①収入は、被保険者数が予算比 18 人減少したことなどから、年間総報酬額が 178 百万円減少し、これに伴い介護保険収入が**予算比 3 百万円減少**する見込みです。
- ②支出は、介護納付金が**予算比 1 百万円減少**するため、**積立金繰入前の収支差引額が予算比 2 百万円減少**する見込みです。

### <2022 年度介護勘定（介護保険）収支見込み>（単位：千円）

	(A)2022 年度予算	(B) 2022 年度見込	(B)－(A)差異
被保険者数	298 人	280 人	▲18 人
保険料率	18.00/1000	18.00/1000	－
平均標準報酬月額	608	603	▲5
総標準賞与額	629,918	597,710	▲32,208
<b>年間総報酬額</b>	<b>2,802,716</b>	<b>2,624,410</b>	<b>▲178,306</b>
<b>①収入</b>	<b>58,450</b>	<b>50,138</b>	<b>▲8,312</b>
介護保険収入	50,448	47,138	▲3,310
繰入金他	3,002	3,000	▲2
一般勘定受入金	5,000	0	▲5,000
<b>②支出</b>	<b>52,000</b>	<b>46,030</b>	<b>▲5,970</b>
介護納付金	47,000	46,030	▲970
積立金繰入他	0	0	0
一般勘定受入金	5,000	0	▲5,000
<b>③収支差引額</b>	<b>6,450</b>	<b>4,108</b>	<b>▲2,342</b>

## 2. 2023 年度の保険料率および収支見込

### (1) 一般勘定（健康保険）

#### (1) 健康保険料率の改定（+10/1000）

現行保険料率 78.00/1000 を 10/1000 引き上げ、88/1000 とします。

#### (2) 別途積立金の繰り入れ（30 百万円）

- ①支出は年間を通じて毎月概ね同規模で発生するのに対し、収入は 7 月・1 月の賞与月に例月の 3 倍弱入金することから、賞与月以外の収支が赤字となる。
- ②月内では、納付金（5 日）、保険給付費（20 日）等の支出が、月末の健康保険料入金前に発生することから、一時的に資金不足になることが想定される。

#### ①経常収入

平均標準報酬月額が 24 千円減少すること等から年間総報酬額が前年度見込比 161 百万円減少し、これにより**健康保険収入が前年度見込比 12 百万円減少**する見込みです。

一方で、**一般保険料率の引き上げにより 45 百万円の健康保険収入の増加**が見込まれるため、**経常収入は差し引き 33 百万円の増加**となります。

#### ②経常支出

前期高齢者納付金の算定に用いる前々年度（2021 年度）の前期高齢者保険給付費が 2020 年比半減（24 百万円から 11 百万円へ）したことから、**前期高齢者納付金が前年度比 95**

百万円減少する見込みであり、これ以外の支出増7百万円を合算し、前年度見込比87百万円減少する見込みです。

③ 経常収支差引額

この結果、経常収支差引額は前年度見込比120百万円増加し19百万円の黒字転じる見込みです。

<2023年度一般勘定（健康保険）収支見込み>（単位：千円）

	(A)2023年度予算	(B)2022年度見込	(A)-(B)差異
被保険者数	601人	599人	+2人
保険料率	88.00/1000	78.00/1000	+10.00/1000
一般保険料率	86.52/1000	76.50/1000	+10.02/1000
調整保険料率	1.48/1000	1.50/1000	▲0.02/1000
平均標準報酬月額	474	498	▲24
総標準賞与額	1,022,206	1,027,125	▲4,919
<b>年間総報酬額</b>	<b>4,444,098</b>	<b>4,604,865</b>	<b>▲160,767</b>
<b>①a. 経常収入</b>	<b>386,779</b>	<b>354,135</b>	<b>+32,644</b>
健康保険収入	384,503	350,378	+34,125
その他	2,276	3,757	▲1,481
<b>①b. その他収入</b>	<b>37,721</b>	<b>112,451</b>	<b>▲74,730</b>
調整保険料	6,718	6,916	▲198
繰入金	30,000	94,000	▲64,000
負担助成金	2	9,203	▲9,201
その他	1,001	2,332	▲1,331
<b>①c. 収入合計</b>	<b>424,500</b>	<b>466,586</b>	<b>▲42,086</b>
<b>②a. 経常支出</b>	<b>367,984</b>	<b>455,450</b>	<b>▲87,466</b>
事務費	36,356	34,179	+2,177
保険給付費	185,959	184,441	+1,518
納付金	111,003	205,145	▲94,142
(うち、前期高齢者納付金)	(8,000)	(103,205)	<b>(▲95,205)</b>
(うち、後期高齢者支援金)	(103,000)	(101,936)	(+1,064)
保健事業費	34,140	30,178	+3,962
その他	526	1,507	▲981
<b>②b. その他支出</b>	<b>56,516</b>	<b>7,116</b>	<b>+49,400</b>
財政調整事業拠出金	6,718	7,051	▲333
予備費	49,795	0	+49,795
その他	3	65	▲62
<b>②c. 支出合計</b>	<b>424,500</b>	<b>462,566</b>	<b>▲38,066</b>
<b>③a. 経常収支差引額</b>	<b>18,795</b>	<b>▲101,315</b>	<b>+120,110</b>
<b>③c. 総合収支差引額</b>	<b>0</b>	<b>4,020</b>	<b>▲4,020</b>

## (2) 介護勘定（介護保険）

2023年度の介護保険料率は、現行の18.00/1000を据え置きとします。

介護勘定は、保険料率を2021年度に従前の14.50/1000から現行料率に上方改定した結果収支均衡を図ることができ、2022年度・2023年度とも若干の黒字が見込まれるため、保険料率を据え置きとします。

なお、7月末の賞与保険料の入金までの間、毎月の支出が収入を上回るため、資金繰り対策として、準備金から5百万円を支払余裕金に繰り入れます。

### <2023年度介護勘定（介護保険）収支見込み>（単位：千円）

	(A)2023年度予算	(B)2022年度見込	(A)-(B)差異
被保険者数	273人	280人	▲7人
保険料率	18.00/1000	18.00/1000	—
平均標準報酬月額	582	603	▲21千円
総標準賞与額	605,763	597,710	+8,053
<b>年間総報酬額</b>	<b>2,512,711</b>	<b>2,624,410</b>	<b>▲111,699</b>
<b>①収入</b>	<b>50,230</b>	<b>50,138</b>	<b>▲92</b>
介護保険収入	45,228	47,138	▲1,920
繰入金他	5,002	3,000	+2,002
一般勘定受入金	0	0	0
<b>②支出</b>	<b>42,730</b>	<b>46,030</b>	<b>+3,300</b>
介護納付金	42,000	46,030	+4,030
積立金繰入他	730	0	▲730
一般勘定受入金	0	0	0
<b>③収支差引額</b>	<b>7,500</b>	<b>4,108</b>	<b>▲3,392</b>

## 3. 保有金融資産推移（単位：千円）

	2021年度末実績	2022年度末見込	2023年度末見込
一般勘定			
法定準備金	68,781	68,781	68,781
別途積立金	292,499	198,499	172,401
決算残金処分予定額	—	3,902	48,795
計	361,280	271,182	289,977
前年度比増減		▲90,098	+18,795
介護勘定			
準備金	8,705	5,705	4,813
決算残金処分予定額	—	4,108	7,500
計	8,705	9,813	12,313
合計	369,985	280,995	302,290

## 4. 2023 年度保険事業の重点実施項目

前期高齢者にかかる保険給付費の大幅増を主要因に、2022 年度の保険給付費が過去 5 年間平均の約 1.3 倍に増加する見込みであることを受け、2023 年度は、以下の保健事業に重点的に取り組み、加入者の健康維持とともに早期受診・治療の促進に努めます。

### (1) 特定健康診査の受診率の向上

40 歳以上の被保険者・被扶養者への実施が義務づけられている特定保健診査（身長および腹囲の検査、BMI の測定、血圧の測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査等）の 2021 年度の受診率は、被保険者が 95.5%、被扶養者が 63.4%、平均では 59.2%でしたが、これを第 2 期データヘルス計画の最終年度である 2023 年度末までに、被保険者 100%、被扶養者 70%に向上させるべく、事業所の協力の下、受診の徹底に努めます。

### (2) 特定保健指導の実施率の向上

特定健康診査の結果、腹囲または BMI が基準値を上回り、かつ、高血圧、高血糖、脂質異常が認められる場合には、生活習慣を改善するための特定保健指導（期間 3 ヶ月または 6 ヶ月）を実施することが義務づけられていますが、当健保の 2021 年度の実施率は 15.5%に留まっています。2023 年度末の実施率目標 55%に近づけるべく、特に、重症化のおそれのある者をターゲットに参加者の拡大を図ります。

### (3) 糖尿病等慢性疾患の重症化予防の実施

健康保険組合連合会千葉連合会が実施する共同事業に参加し、面接、電話等により重症化の予防指導（期間 6 ヶ月）を行います。対象者に受診勧奨文書を発信し、2022 年度は 2 人が参加しました。

### (4) 生活習慣病発症予測レポートの配付

健診結果を基に将来 5 年間の生活習慣病発症リスクを予測し、改善目標を掲げます。

### (5) 健康セミナーの実施

「みんなで歩活」と併せて運動習慣の一層の定着を図ります。

### (6) オンライン禁煙指導（3 ヶ月間）の実施

### (7) 定期健診併催型歯科検診の実施（袖ヶ浦製油所）

定期健診と併せて歯科検診を実施し、虫歯・歯周病等の予防を図ります。

### (8) 前期高齢者訪問健康相談の実施

前期高齢者の健康維持・増進を目的に、面接による訪問健康相談を実施します。

## 5. 保健事業の実施計画

### (1) 特定健康診査

40 歳以上の全被保険者・被扶養者を対象に、人間ドック、生活習慣病健診、事業所の定期健康診断により実施します。

### (2) 特定保健指導

特定健康診査の結果を基に対象者を選定し、メタボリックシンドロームの進展度に応じて「積極的支援対象者」、「動機付け支援対象者」および「情報提供対象者」に階層化し、支援対象者を対象に実施します。

### (3) 保健指導宣伝

医療費通知	加入者および健保組合が支払った医療費をお知らせします。 発行時期および対象期間は以下のとおりです。 9 月：1 月～6 月受診分（健康管理用） 2 月：1 月～11 月分（確定申告・医療費控除用） 3 月：7 月～12 月受診分（健康管理用）
ジェネリック医薬品差額通知	ジェネリック医薬品へ切り替えることにより半年で 3 千円以上薬剤費が節減できる方を対象に、年 2 回（9 月および 3 月）、ジェネリック医薬品差額通知を配布します。
生活習慣病発症リスク予測	健診結果を基に、将来 5 年間の生活習慣病（糖尿病、虚血性心疾患、脳卒中）発症リスクを予測するレポートを配布します。
健康情報提供（KenCoM）	年 2 回実施するウォーキング行事への参加の他、過去の健診結果の確認等、健康維持・増進に活用できます。
健康情報誌	月刊誌ヘルスアップ 21 を各職場に配布し健康意識向上を図ります。

### (4) 疾病予防

人間ドック	35 歳以上の被保険者、45 歳以上の被扶養者を対象に実施します。
生活習慣病健診	30 歳以上被保険者および被扶養者を対象に実施します。
事業所歯科検診	被保険者を対象に実施します（9 月～12 月頃）。
歯科検診補助	加入者が自費診療の歯科検診を受診した場合に、1 人 4 千円を上限とする実費を年 1 回補助します。
家庭用常備薬購入補助	常備薬を斡旋販売し、被保険者一人当たり 3 千円（送料 5 百円込）を上限に補助を行います（10 月申込 12 月配布）。
インフルエンザ <sup>※</sup> 予防接種補助	加入者一人あたり 3 千円を上限とする補助（13 歳未満は 2 回まで補助）を実施します（10 月～1 月接種が対象）。
保健師派遣受入	保健師が不在の事業所に千葉連合会所属の保健師を派遣し、健康指導や健康相談を行います。
糖尿病等慢性疾患の重症化予防	委託先の専門指導員が、面接、電話等により期間 6 ヶ月の重症化の予防指導を行います。

訪問健康相談	前期高齢者を対象に、面接による健康相談を実施します。
健康セミナー	健康・運動等に関するセミナーを実施します。
禁煙指導	3ヵ月間のオンライン禁煙指導を実施します。

#### (5) 体育奨励

KenCoM の共同事業に参加して、春と秋にウォーキングイベント「みんなで歩活」を実施します。

#### (6) 宿泊費補助

国内の旅館・ホテル等に宿泊した被保険者・被扶養者を対象に年度内1回、大人（12歳以上）8千円、子供（3歳以上12歳未満）4千円を限度に償還払方式にて補助します。

#### (7) 借上保養所

セラヴィリゾート泉郷が保有する関東・中部地区を中心とした全国約40の保養所施設を通年利用できます。

## 6. 出産育児一時金の支給額の引き上げ（2023年4月1日施行）

健康保険法施行令に規定される出産育児一時金の支給額については、2023年4月以降、現行の420,000円から500,000円へ80,000円引き上げを行うことになりました。

現行：408,000円＋加算額12,000円 総額420,000円

改正後：488,000円＋加算額12,000円 総額500,000円

## 7. 2024年度の収支予想

2024年度は、2022年度の前期高齢者にかかる保険給付費が2021年度の2.5倍に達すると見込まれることから、前期高齢者納付金が68百万円増加し、後期高齢者支援金を併せた納付金が2023年度予算比83百万円増加する見通しです。

健康保険料率を、2023年度予算と同率の88/1000とし、納付金以外の収入・支出を2023年度予算比2%増で算定すると、経常収支は62百万円の赤字となる見込みです。

以上